

クリーンテック株式ファンド (資産成長型) (愛称：みらい Earth S 成長型)

運用報告書(全体版) 第9期

(決算日 2024年11月11日)

(作成対象期間 2024年5月14日～2024年11月11日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2020年7月31日～2050年5月11日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ. アクサIMクリーンテック関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
5期末(2022年11月11日)	14,490	0	13.3	—	99.2	51,040
6期末(2023年5月11日)	13,704	0	△ 5.4	—	99.4	47,108
7期末(2023年11月13日)	13,142	0	△ 4.1	—	99.0	41,960
8期末(2024年5月13日)	16,823	0	28.0	0.0	99.7	44,986
9期末(2024年11月11日)	16,823	0	0.0	0.0	99.5	39,962

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

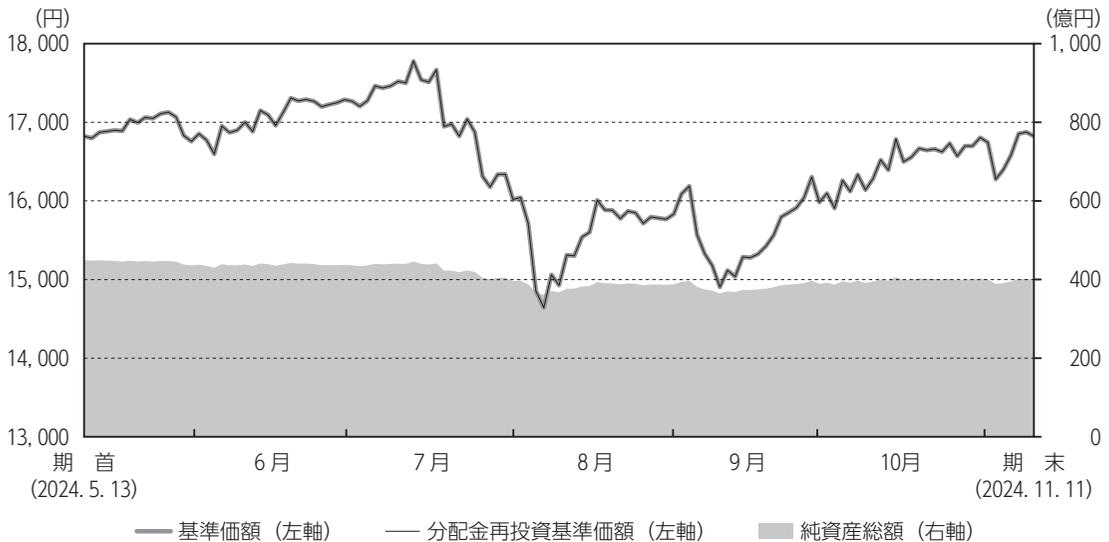
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：16,823円

期末：16,823円（分配金0円）

騰落率：0.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、AI（人工知能）関連の半導体関連企業をはじめとした保有株式が上昇したことなどがプラス要因となった一方で、為替相場において主に米ドルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となったことから、当作成期首比で横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

クリーンテック株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率			
(期首)2024年5月13日	円	16,823	—	0.0	99.7
5月末		16,758	△ 0.4	0.0	99.4
6月末		17,287	2.8	0.0	99.4
7月末		16,020	△ 4.8	0.0	99.2
8月末		15,832	△ 5.9	0.0	99.1
9月末		15,982	△ 5.0	0.0	99.2
10月末		16,743	△ 0.5	0.0	99.5
(期末)2024年11月11日		16,823	0.0	0.0	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 5. 14 ~ 2024. 11. 11)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、一部経済指標の下振れを受けて利下げ期待が高まったことや高成長が期待されるAI（人工知能）関連銘柄が相場をけん引し、2024年7月中旬にかけて上昇しました。その後は、対中輸出規制強化の観測により半導体関連株が反落したほか、8月上旬には、米国の雇用統計悪化を受けた米国景気の減速懸念や急速な円高進行による市場の混乱などにより、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、10月中旬にかけて上昇しました。当作成期末にかけては、決算が嫌気された半導体関連株を中心に下落する局面もありましたが、米大統領選挙でトランプ前大統領の勝利を好感し、反発しました。

■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

対円で米ドル、ユーロともに下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より2024年7月中旬にかけて、日銀が長期間にわたって緩和的な金融政策を維持すると見込まれたことなどから、円安が進行しました。7月半ば以降は、日銀が利上げを実施するとともに追加的な金融政策の修正に前向きな姿勢を示したことや、複数の経済指標が市場予想を下回り米国の景気減速懸念が強まったことなどから、日米金利差が縮小し、米ドル円は大きく下落しました。10月以降は、過度な景気減速懸念の後退やトランプ氏の大統領選挙勝利を受けた米国金利上昇の影響により、米ドル円は上昇（円安）に転じました。

ユーロ円為替相場は、当作成期首より2024年7月中旬にかけて、ECB（欧州中央銀行）が利下げを実施したものの、日銀が緩和的な金融政策を維持すると見込まれたことなどから、円安が進行しました。7月半ば以降は、日銀の利上げなどにより急速に円高が進行したものの、9月以降は、欧州金利が上昇基調となったことから反発しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによってさらなる投資機会が創出されるものと期待されます。引き続き、高い技術力と競争優位性のある質の高いクリーンテック関連企業に投資することにより、地球環境を守るための政策の後押しや人々の行動の変化を背景に長期的な成長が期待できると考えます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 5. 14 ~ 2024. 11. 11)

■当ファンド

当ファンドは、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」および「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」への投資比率を高位に維持しました。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」、「革新的な技術基盤」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手のネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では水技術ソリューションを提供するザイレム、「廃棄物処理・資源有効利用」では米国の廃棄物処理業者ウエイスト・マネジメント、「持続可能な食糧供給」では農薬散布を最適化する技術の開発に取り組む米国の農機メーカーのディア、「革新的な技術基盤」では米国の半導体企業エヌビディアなどの企業に投資しました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

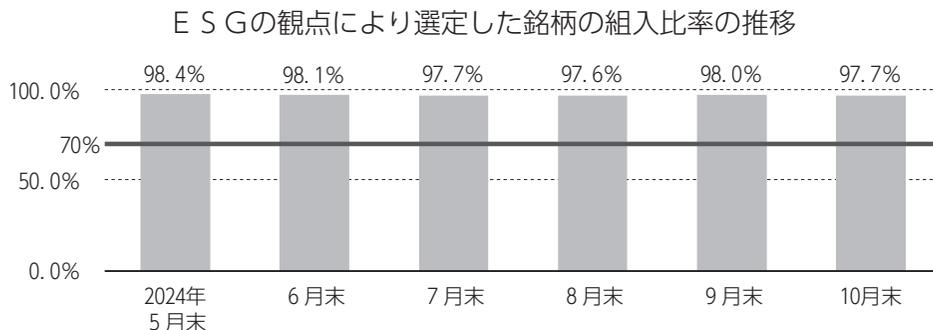
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

当ファンドは、「ESGファンド（インパクトファンド）＊」です。

- ＊ ESGファンドとは、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。
- ＊ ESGファンドのうち、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすファンドを特に「インパクトファンド」と定義しています。

○ ESGの観点により選定した銘柄への投資比率について

- ・ 「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の主要投資対象である「アクサIMクリーンテック関連株式マザーファンド」において、ESGの観点により選定した銘柄に常に純資産総額の70%以上投資を行います。



※比率は「アクサIMクリーンテック関連株式マザーファンド」の純資産総額に対する比率です。

○インパクトの達成状況について

当ファンドのインパクトの達成状況の概要（2024年6月末時点）は次のとおりです。

- ・「アクサIMクリーンテック関連株式マザーファンド」への100万ユーロの投資は、年間当たり223トンのCO₂排出削減効果をもたらしました（※）。

（※）投資先企業が属する業種の排出量平均と投資先企業の排出量を投資金額100万ユーロ当たりの数値で比較し、平均より下回った分を当該企業の削減量とし、保有ウエートで加重平均して算出しています。

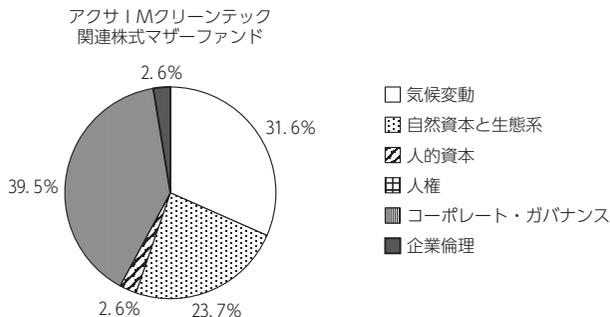
当ファンドのインパクトの達成状況の詳細については、別途「インパクトレポート」を作成し、大和アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）ウェブサイトにて公開しております。表紙に記載の方法で当社ウェブサイトより当ファンドを選択いただき、「ファンドに関するお知らせ一覧」からご覧ください。

○組入ファンドの運用会社がスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

組入ファンドの運用会社であるアクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社（以下「アクサ社」といいます。）は、お客さまにとって受動的なパートナーではなく、お客さまに代わって資産を運用するアクティブオーナーです。アクサ社のスチュワードシップ戦略は、長期的に企業業績やお客さまの資産価値に大きな影響を与える可能性がある懸念事項を提起し、お客さまの投資を保護することを目的としています。アクサ社は、投資リスクの低減、リターンの向上、そして社会と環境へのポジティブなインパクトの実現に努めています。

アクサ社がスチュワードシップ方針に沿って実施した行動の概要は次のとおりです。

- ・過去1年間に行ったエンゲージメント活動におけるテーマ内訳（2024年9月末時点）



※スチュワードシップ活動の活動件数（暦年）については、後述のウェブサイトに掲載される報告書をご覧ください。

アクサ社のスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細については、アクサ社のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.axa-im.co.jp/responsible-investing/policies>

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年5月14日 ～2024年11月11日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,822

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」、「革新的な技術基盤」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによってさらなる投資機会が創出されるものと期待されます。引き続き、高い技術力と競争優位性のある質の高いクリーンテック関連企業に投資することにより、地球環境を守るための政策の後押しや人々の行動の変化を背景に長期的な成長が期待できると考えます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 5. 14~2024. 11. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	94円	0.570%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,451円です。
(投 信 会 社)	(29)	(0.175)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(63)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	94	0.573	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

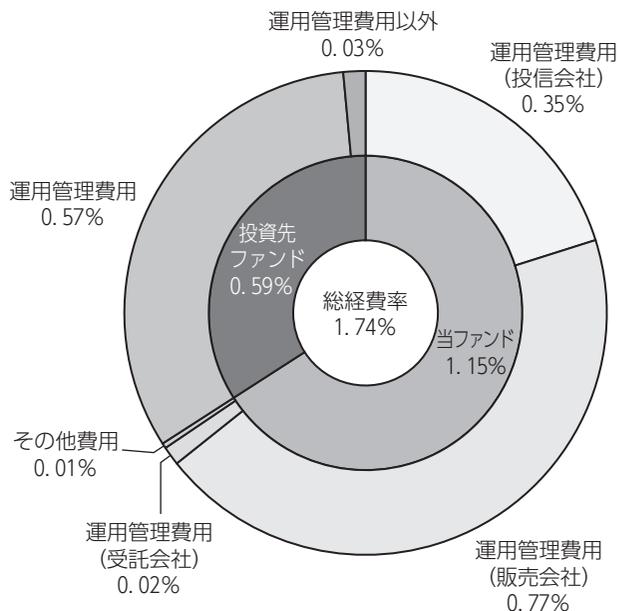
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.74%
①当ファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年5月14日から2024年11月11日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国内	アクサIMクリーンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	—	—	2,989,883.898	5,276,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券 アクサIMクリーンテック関連 株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	22,316,771.208	39,781,876	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年11月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	39,781,876	98.6
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	556,417	1.4
投資信託財産総額	40,338,295	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	40,338,295,439円
コール・ローン等	556,417,282
投資信託受益証券 (評価額)	39,781,876,355
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド (評価額)	1,802
(B) 負債	376,135,448
未払解約金	141,669,217
未払信託報酬	233,355,620
その他未払費用	1,110,611
(C) 純資産総額 (A - B)	39,962,159,991
元本	23,754,553,375
次期繰越損益金	16,207,606,616
(D) 受益権総口数	23,754,553,375口
1万口当り基準価額 (C / D)	16,823円

* 期首における元本額は26,741,757,053円、当作成期間中における追加設定元本額は564,266,888円、同解約元本額は3,551,470,566円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,823円です。

クリーンテック株式ファンド（資産成長型）

■損益の状況

当期 自 2024年 5月14日 至 2024年11月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	412,152円
受取利息	412,152
(B) 有価証券売買損益	251,612,915
売買益	374,527,791
売買損	△ 122,914,876
(C) 信託報酬等	△ 234,466,231
(D) 当期損益金 (A + B + C)	17,558,836
(E) 前期繰越損益金	6,977,832,265
(F) 追加信託差損益金	9,212,215,515
(配当等相当額)	(5,410,244,749)
(売買損益相当額)	(3,801,970,766)
(G) 合計 (D + E + F)	16,207,606,616
次期繰越損益金 (G)	16,207,606,616
追加信託差損益金	9,212,215,515
(配当等相当額)	(5,410,244,749)
(売買損益相当額)	(3,801,970,766)
分配準備積立金	6,995,391,101

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,006円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	17,521,830
(c) 収益調整金	9,212,215,515
(d) 分配準備積立金	6,977,832,265
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	16,207,606,616
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	16,207,606,616
(h) 受益権総口数	23,754,553,375口

<補足情報>

当ファンド（クリーンテック株式ファンド（資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年11月11日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年5月14日から2024年11月11日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1239国庫短期証券 2024/9/24	69,999,650		
1258国庫短期証券 2024/12/23	53,294,723		
1266国庫短期証券 2025/2/10	41,398,758		
1231国庫短期証券 2025/5/20	39,942,240		
1232国庫短期証券 2024/8/19	11,999,832		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年11月11日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（201,758,088千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2024年11月11日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 134,700,000	千円 134,663,710	%	%	%	%	%
			66.7	—	—	—	66.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年11月11日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1258国庫短期証券	— %	千円 53,300,000	千円 53,297,537	2024/12/23	
	1266国庫短期証券	—	41,400,000	41,398,834	2025/02/10	
	1231国庫短期証券	—	40,000,000	39,967,337	2025/05/20	
合 計	銘 柄 数 金 額	3銘柄	134,700,000	134,663,710		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

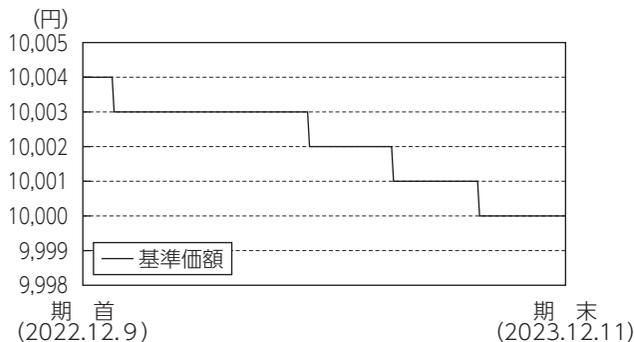
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2022年12月9日	10,004	-	-
12月末	10,004	0.0	-
2023年1月1日	10,003	△0.0	-
2月末	10,003	△0.0	-
3月末	10,003	△0.0	-
4月末	10,003	△0.0	-
5月末	10,003	△0.0	-
6月末	10,002	△0.0	-
7月末	10,002	△0.0	-
8月末	10,001	△0.0	-
9月末	10,001	△0.0	-
10月末	10,000	△0.0	-
11月末	10,000	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,000	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,004円 期末：10,000円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごと円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	224,869,425	100.0
投資信託財産総額	224,869,425	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	224,869,425,628円
コール・ローン等	224,869,425,628
(B) 負債	1,500,000,000
未払解約金	1,500,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	223,369,425,628
元本	223,366,515,143
次期繰越損益金	2,910,485
(D) 受益権総口数	223,366,515,143口
1万口当り基準価額(C/D)	10,000円

* 期首における元本額は159,095,941,234円、当作成期間中における追加設定元本額は314,669,316,126円、同解約元本額は250,398,742,217円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド	947,268円
ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型)	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	3,985円
－ロボテック (年1回)－ (為替ヘッジあり)	
iFreeレバレッジ S&P500	8,578,400,572円
iFreeレバレッジ NASDAQ100	136,597,495,537円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	499,501円
iFreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス	3,766,275,979円
iFreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス	7,383,524,817円
iFreeETF TOPIXレバレッジ (2倍) 指数	1,207,970,593円
iFreeETF TOPIXダブルインバース (－2倍) 指数	926,253,680円
iFreeETF 日経平均インバース・インデックス	8,758,653,432円
iFreeETF TOPIXインバース (－1倍) 指数	11,471,375,420円
iFreeETF JPY日経400レバレッジ・インデックス	788,263,236円
iFreeETF JPY日経400インバース・インデックス	114,002,117円
iFreeETF JPY日経400ダブルインバース・インデックス	78,926,070円
iFreeETF S&P500レバレッジ	556,085,029円
iFreeETF S&P500インバース	2,883,612,458円
先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用)	207,414,601円
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ	4,992,083円
－SLトレード	
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	25,460,730,955円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	11,487,636,953円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	3,017,601,716円
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	44,637,919円
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレニアセット亜細亜株式ファンド	4,148円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	100,588円
－ロボテック (年1回)－	
ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	5,813円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△69,335,817円
支払利息	△69,335,817
(B) 当期損益金(A)	△69,335,817
(C) 前期繰越損益金	62,057,963
(D) 解約差損益金	△51,876,027
(E) 追加信託差損益金	62,064,366
(F) 合計(B+C+D+E)	2,910,485
次期繰越損益金(F)	2,910,485

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型株式投資信託／適格機関投資家私募	
信託期間	原則、無期限とします。	
運用方針	アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全や再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
マザーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全や再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 ポートフォリオの構築にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 <ul style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準に基づきスクリーニングによってユニバースを絞り込みます。 その中からクリーンテック分野において長期的な成長が見込まれる企業群を選定します。 さらにファンダメンタル・リサーチに基づき銘柄を絞り込み、バリュエーションや流動性、ポートフォリオ全体のリスクなどを勘案の上、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	<p>毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の全額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保金の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 	

アクサ IMクリーンテック 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型株式投資信託／適格機関投資家私募

運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2024年10月11日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第10期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		
6期(2022年10月11日)	円 13,681	円 0	% △ 5.5	% 96.2	百万円 52,203
7期(2023年4月11日)	14,221	0	3.9	97.9	53,410
8期(2023年10月11日)	13,787	0	△ 3.1	97.4	47,738
9期(2024年4月11日)	16,882	0	22.4	97.4	49,610
10期(2024年10月11日)	17,349	0	2.8	97.6	45,080

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

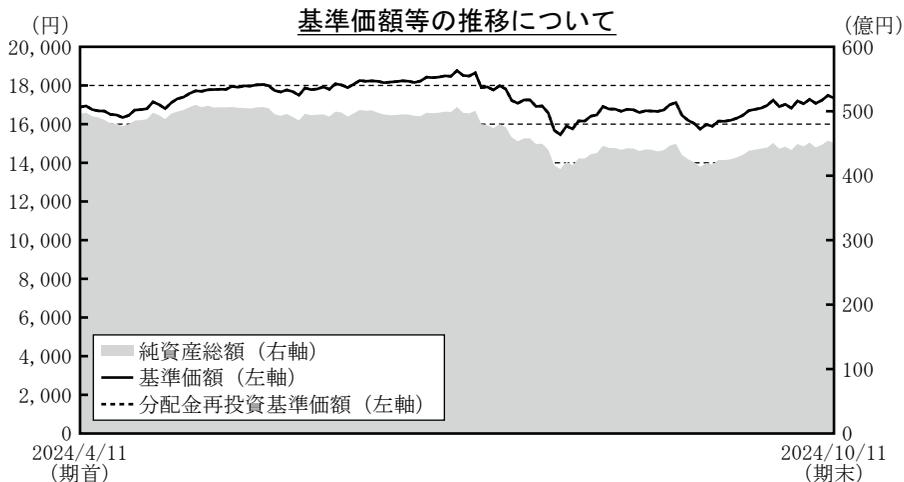
年 月 日	基 準 価 額		株 組 入 比 率
	騰 落 率	率	
(期 首) 2024年4月11日	円 16,882	% —	% 97.4
4月末	17,149	1.6	97.7
5月末	17,663	4.6	98.0
6月末	18,239	8.0	98.2
7月末	16,914	0.2	97.8
8月末	16,731	△0.9	97.8
9月末	16,905	0.1	98.2
(期 末) 2024年10月11日	17,349	2.8	97.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2024年4月12日～2024年10月11日）



期 首：16,882円

期 末：17,349円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率： 2.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に北米の保有銘柄の株価が全般的に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期の米国株式市場は、主に米連邦準備制度理事会（FRB）による利下観測の強まりや9月の利下げ、引き続き米国経済のソフトランディングの期待感により上昇しました。欧州株式市場は主に米国株式市場の上昇を受け、上昇しました。

9月米国の利下げ開始や、日本政府のタカ派的な態度の緩和、中国政府による新たな景気刺激策が、株価上昇の要因となります。米労働省が発表した8月の雇用統計によると、失業率は4.2%と2023年4月の3.4%から上昇しました。一方で、インフレは着実に落ち着きを見せたことから、米連邦準備理事会（FRB）は50bpsの利下げを実行しました。中国では、新たに金融緩和策と景気刺激策を発表し、政府は景気を下支えする強い意志を示しました。景気刺激策発表後、中国株式市場は大幅上昇し、米国もそれに続く上昇を見せ、欧州市場と日本市場を大きくアウトパフォームする結果となりました。セクター別では、一般消費財・サービス、素材、公益事業などがリードするなど、幅広いセクターで上昇が見られました。唯一エネルギーやヘルスケアセクターの二つで下落が見られました。バリュー株とグロース株はどちらも上昇しましたが、バリュー株がグロース株をわずかにアウトパフォームしました。

世界を代表する公益事業セクターに属する企業が、国際再生可能エネルギー機関（IRENA）が推進するネットゼロのための公益事業同盟（UNENZA）を通じて、クリーンな発電と送電インフラに年間1,160億ドル以上の投資をコミットしました。IRENAと国連の指導のもと、世界の3億2,700万人の顧客にサービスを提供する39のパートナー企業は、2030年までに脱炭素化の目標を達成するために、電力システムの変革を加

アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

速することを目指しています。再生可能エネルギーのポートフォリオを2.6倍に拡大し、投資資金の48%を送電などに割り当てる計画です。この計画は、気候変動イベントの一つである、Climate Week NYC 2024の開催期間中に発表され、クリーンな電力設備や資材への需要の喚起と、それらの開発投資を促進する取り組みが強調されました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は153円台から期末には148円台となり、ユーロ・円レートは期初は164円台から期末に162円台となりました。

対米ドルは、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げと日本銀行による利上げを受け、日米金利差が縮小するとの見方により期半ばより円高が進行しました。対ユーロも欧州中央銀行（ECB）による利下げを受け、円高が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」、「革新的な技術基盤」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。9月末時点で39銘柄に投資しています。地域別では、米国が最も多く、次いで大陸欧州、日本、アイルランドなどの国・地域に投資しています。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手ネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では水技術ソリューションを提供する米国のザイレム、「廃棄物処理・資源有効利用」では、米国の廃棄物処理業者ウェイスト・マネジメント、「持続可能な食糧供給」では農薬散布を最適化する技術の開発に取り組む米国の農機メーカーのディア、「革新的な技術基盤」では米国の半導体企業エヌビディアなどの企業に投資しています。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

	第10期
	2024年4月12日～2024年10月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,348

- （注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
 （注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 （注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、環境への取り組みを支えるこれらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。こうした将来的な成長期待の高い環境関連株式に投資することによって、長期的に優れたリターンの獲得を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細（2024年4月12日～2024年10月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.287%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は17,264円です。
（投 信 会 社）	(48)	(0.276)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.014	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.014)	
そ の 他 費 用	2	0.013	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.012)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	54	0.314	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2024年4月12日～2024年10月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 3,351,807	千円 6,100,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2024年4月12日～2024年10月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	22,747,827千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	45,979,718千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.49

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2024年4月12日～2024年10月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2024年4月12日～2024年10月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年10月11日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド	千口 28,326,703	千口 24,974,896	千円 45,054,712

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2024年10月11日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド	45,054,712	99.6
コール・ローン等、その他	161,169	0.4
投資信託財産総額	45,215,881	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（42,103,402千円）の投資信託財産総額（45,174,334千円）に対する比率は、93.2%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=148.62円、1英ポンド=194.16円、1ユーロ=162.53円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2024年10月11日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	45,215,881,515円
コール・ローン等	41,169,018
アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド(評価額)	45,054,712,497
未 収 入 金	120,000,000
(B) 負 債	135,789,468
未 払 信 託 報 酬	135,225,168
そ の 他 未 払 費 用	564,300
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	45,080,092,047
元 本	25,984,885,392
次 期 繰 越 損 益 金	19,095,206,655
(D) 受 益 権 総 口 数	25,984,885,392口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,349円

1. 期首元本額 29,386,985,136円
 期中追加設定元本額 ー円
 期中一部解約元本額 3,402,099,744円
 2. 1口当たり純資産額 1.7349円

■損益の状況

当期（自 2024年4月12日 至 2024年10月11日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	8,973円
受 取 利 息	8,973
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,348,358,058
売 買 益	1,621,134,088
売 買 損	△ 272,776,030
(C) 信 託 報 酬 等	△ 135,789,468
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,212,577,563
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,489,231,369
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,393,397,723
(配 当 等 相 当 額)	(6,711,061,278)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,682,336,445)
(G) 計 (D + E + F)	19,095,206,655
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	19,095,206,655
追 加 信 託 差 損 益 金	9,393,397,723
(配 当 等 相 当 額)	(6,711,061,278)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,682,336,445)
分 配 準 備 積 立 金	9,701,808,932

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（297,287,099円）、費用控除後の有価証券等損益額（915,290,464円）、信託約款に規定する収益調整金（9,393,397,723円）および分配準備積立金（8,489,231,369円）より分配対象収益は19,095,206,655円（10,000口当たり7,348.58円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全や再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 ポートフォリオの構築にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 <ul style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準に基づくスクリーニングによってユニバースを絞り込みます。 その中からクリーンテック分野において長期的な成長が見込まれる企業群を選定します。 さらにファンダメンタル・リサーチに基づき銘柄を絞り込み、バリュエーションや流動性、ポートフォリオ全体のリスクなどを勘案の上、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日：2024年4月11日）

（計算期間 2023年4月12日～2024年4月11日）

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	純資産額
		期騰	落中率		
(設定日) 2020年2月19日	円 10,000		% —	% —	百万円 872
1期(2020年4月13日)	7,805	△22.0		91.7	1,030
2期(2021年4月12日)	14,223	82.2		98.2	13,055
3期(2022年4月11日)	14,835	4.3		96.6	54,787
4期(2023年4月11日)	14,659	△1.2		97.9	53,388
5期(2024年4月11日)	17,504	19.4		97.5	49,582

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

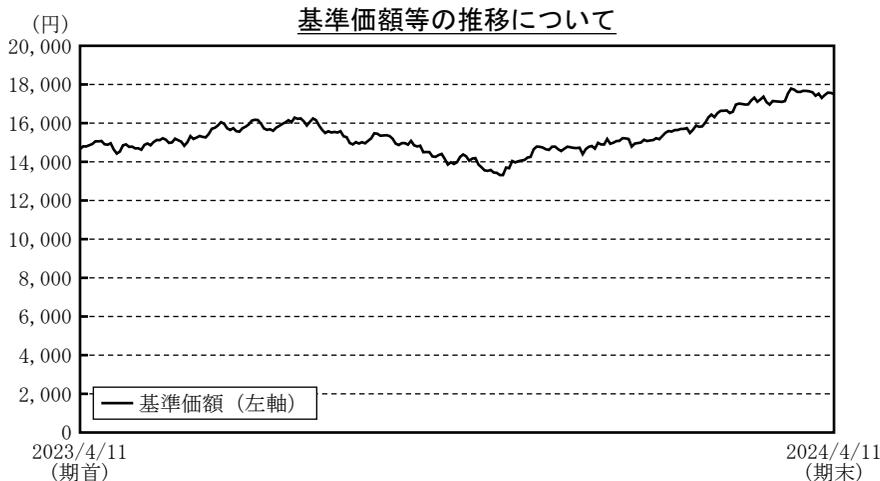
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率
		騰	落率	
(期首) 2023年4月11日	円 14,659		% —	% 97.9
4月末	14,530	△0.9		98.0
5月末	15,044	2.6		98.1
6月末	15,927	8.6		97.5
7月末	16,068	9.6		97.6
8月末	15,453	5.4		96.7
9月末	14,349	△2.1		96.7
10月末	13,314	△9.2		96.0
11月末	14,676	0.1		96.4
12月末	15,180	3.6		98.2
2024年1月末	15,743	7.4		98.6
2月末	16,961	15.7		97.5
3月末	17,666	20.5		98.2
(期末) 2024年4月11日	17,504	19.4		97.5

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2023年4月12日～2024年4月11日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は為替市場で主要通貨に対し円安が進行したことや北米や欧州の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

上半期は債券市場の利回りの上昇を背景にグローバル株式は下落しましたが、下半期は上昇しました。米国市場の好調はAI（人工知能）関連事業の強気見通し、連邦準備制度理事会（FRB）のハト派的な発言、底堅く推移する経済指標などが牽引しています。3月は、割安な景気敏感株へのシフトが起り、欧州市場が米国市場を上回るパフォーマンスとなりました。アジア及びエマージング市場も景気刺激策への期待から中国市場が大きく反発したことを受けて堅調なパフォーマンスとなりました。これまで市場を牽引していた「マグニフィセント7（大手テック企業7社）」は、規制当局からの制裁や消費者需要の減速などの影響により銘柄間のパフォーマンスにばらつきが生じました。

政策立案者が経済成長、生活コスト、環境問題などの課題に取り組む中、規制と環境テーマの進展とで矛盾する動きが見られました。米国では、複数の調査機関がここ数年で初めて電力需要が年2-3%で増加すると予測しました。これは、電化の進展に加え、とりわけデータセンター向けの需要が伸びていることによるものです。モルガンスタンレーは、AIトレーニングやクラウド向け需要を満たすため、向こう5年間で世界のデータセンター容量が年率20%で増加すると予測しています。現在、米国ではデータセンターの空室率が非常に低く、この動きに拍車をかけています。データセンターは電力を大量に消費し、膨大な設備投資を必要とすることから、投資の世界ではクリーンエネルギー発電業者から電気設備プロバイダー、データセンターREITまで、勝ち組探しが始まっています。規制面では、欧州が環境リーダーの役割を担いつつも、2030年までの排出量55%削減目標の達成に遅れを取っています。ヒートポンプの普及など脱炭素に向けた取り組みは補助金の少なさや設置に必要な熟練労働者不足のため期待通りに進展していません。しかしながら、業界の規模が拡大し、熟練工が増えれば、このボトルネックも解消されるものと思われます。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は133円台から期末には153円台となり、ユーロ・円レートは期初は146円台から期末に164円台となりました。

上半期の対米ドルおよびユーロは、金融政策の方向性の違いや金利差拡大を背景に円安が進行しました。下半期の対米ドルは、F R Bによる早期の利下げ観測の後退や日米の金利差の開きが持続するとの見方が強まり円安が進行しました。対ユーロも、ドイツ国債の金利の上昇等を背景に円安となりました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。3月末時点で41銘柄に投資しています。地域別では、米国が最も多く、次いで大陸欧州、日本、イギリスなどの国・地域に投資しています。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手ネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では水技術ソリューションを提供する米国のザイレム、「廃棄物処理・資源有効利用」では、米国の廃棄物処理業者ウエイスト・マネジメント、「持続可能な食糧供給」では農薬散布を最適化する技術の開発に取り組む米国の農機メーカーのディアなどの企業に投資しています。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、環境への取り組みを支えるこれらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。こうした将来的な成長期待の高い環境関連株式に投資することによって、長期的に優れたリターンの獲得を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細（2023年4月12日～2024年4月11日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株 式)	10円 (10)	0.065% (0.065)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用 (その他)	4 (4)	0.024 (0.024)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	14	0.090	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 「比率」欄は、「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（15,396円）で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2023年4月12日～2024年4月11日）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	日 本	千株 835	千円 1,930,644	千株 138	千円 490,076
	外	百株 13,035 (△897)	千米ドル 142,829 (△1,732)	百株 25,472	千米ドル 149,296
	カナダ	6	千カナダドル 123	889	千カナダドル 16,705
	イギリス	2,476	千英ポンド 5,525	9,778	千英ポンド 12,924
	スイス	20	千スイスフラン 67	1,621	千スイスフラン 5,448
	デンマーク	—	千デンマーククローネ —	3,090	千デンマーククローネ 61,810
	韓国	1.4	千韓国ウォン 71,751	118	千韓国ウォン 5,593,675
	中国	541	千オフショア人民元 5,840	15,089	千オフショア人民元 68,149
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	アイルランド	21	108	2,291	10,371
	オランダ	321 (△669)	8,931 (△7,356)	2,326	9,593
	ルクセンブルグ	—	—	1,512	5,435
	フランス	383	5,863	511	9,085
	ドイツ	2,517	17,831	2,135	16,213
	ポルトガル	153	62	10,685	4,537
	スペイン	4,985 (△14,400)	7,746 (△505)	10,323	13,789
	その他	10	80 (△99)	8,614	7,839
国内					

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2023年4月12日～2024年4月11日）

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	73,863,679千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	49,962,899千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.47

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄（2023年4月12日～2024年4月11日）

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CADENCE DESIGN SYS INC	48	1,637,866	34,039	WASTE CONNECTIONS INC	88	1,792,919	20,159
WASTE MANAGEMENT INC	65	1,601,221	24,558	FIRST SOLAR INC	68	1,744,190	25,576
LINDE PLC	26	1,533,643	56,807	DARLING INTERNATIONAL INC	207	1,479,083	7,116
ANSYS INC	31	1,486,671	46,636	IBERDROLA SA	803	1,412,732	1,758
ASML HOLDING NV	15	1,307,243	86,076	TESLA, INC.	39	1,279,738	32,326
BROOKFIELD RENEWABLE COR-A	302	1,269,257	4,198	SCHNEIDER ELECTRIC SE	41	1,149,494	27,767
EDP RENOVAVEIS SA	486	1,226,157	2,522	XYLEM INC	72	1,117,412	15,508
AECOM	95	1,221,904	12,838	ITRON INC	119	1,083,834	9,068
AMERICAN WATER WORKS CO INC	66	1,215,435	18,366	AMERESCO INC-CL A	192	1,040,272	5,409
トヨタ自動車	444	1,191,843	2,681	ALBEMARLE CORP	41	1,023,311	24,417

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年4月12日～2024年4月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年4月12日～2024年4月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年4月11日現在）

(1) 国内株式

銘 柄	前 期 末		当 期 末	
	株 数	金 額	株 数	金 額
	千株	千円	千株	千円
機械 (22.0%)				
栗田工業	130	103	103	659,349
電気機器 (29.2%)				
三菱電機	—	337	337	874,992
輸送用機器 (48.7%)				
トヨタ自動車	—	385	385	1,458,709
合 計	130	827	827	2,993,051
	株数・金額 銘柄数<比率>	1	3	<6.0%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
NXP SEMICONDUCTORS NV	—	201	4,849	741,995	半導体・半導体製造装置	
LINDE PLC	—	234	10,556	1,615,224	素材	
AECOM	—	826	7,845	1,200,435	資本財	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	—	465	7,697	1,177,763	資本財	
ADVANCED ENERGY INDUSTRIES	531	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
APTIV PLC	588	—	—	—	自動車・自動車部品	
ALBEMARLE CORP	312	—	—	—	素材	
AMERESCO INC-CL A	1,922	—	—	—	資本財	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	—	587	6,948	1,063,202	公益事業	
ANSYS INC	—	258	8,789	1,344,865	ソフトウェア・サービス	
APPLIED MATERIALS INC	—	362	7,589	1,161,333	半導体・半導体製造装置	
AUTODESK INC	—	314	7,526	1,151,691	ソフトウェア・サービス	
BALL CORP	1,165	—	—	—	素材	
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	—	1,250	6,229	953,122	ソフトウェア・サービス	
BORGWARNER INC	1,474	—	—	—	自動車・自動車部品	
BROOKFIELD RENEWABLE COR-A	—	2,662	6,220	951,771	公益事業	
CADENCE DESIGN SYS INC	—	386	11,776	1,801,947	ソフトウェア・サービス	
DANAHER CORP	290	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DARLING INTERNATIONAL INC	1,919	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
DEERE & CO	314	142	5,880	899,832	資本財	
ECOLAB INC	340	340	7,557	1,156,345	素材	
ENPHASE ENERGY INC	200	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
EQUINIX INC	—	86	6,734	1,030,467	エクイティ不動産投資信託 (REIT)	
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO	1,726	—	—	—	資本財	
FIRST SOLAR INC	666	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
HANNON ARMSTRONG SUSTAINABLE	2,106	—	—	—	金融サービス	
ITRON INC	1,112	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
LI-CYCLE HOLDINGS CORP	5,464	—	—	—	商業サービス・用品	
NEXTERA ENERGY INC	1,822	1,442	9,234	1,412,926	公益事業	
NVIDIA CORP	—	129	11,297	1,728,655	半導体・半導体製造装置	
QUANTA SERVICES INC	—	234	5,970	913,578	資本財	
REPUBLIC SERVICES INC	494	417	7,911	1,210,610	商業サービス・用品	
SILICON LABORATORIES INC	486	458	5,952	910,814	半導体・半導体製造装置	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	1,127	492	7,196	1,101,093	半導体・半導体製造装置	
TESLA, INC.	391	—	—	—	自動車・自動車部品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	202	160	9,212	1,409,625	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TRIMBLE INC	1,058	977	6,014	920,250	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
WASTE MANAGEMENT INC	—	565	11,783	1,802,928	商業サービス・用品	
WOLFSPEED INC	612	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
XYLEM INC	905	1,026	13,154	2,012,824	資本財	
EATON CORP PLC	—	245	7,702	1,178,589	資本財	
小 計	株 数	金 額	27,236	14,270	201,633	30,851,895
	銘柄 数<比率>		25	25	—	<62.2%>

アクサ I Mクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	株数	金額	前期末		当 期 末		業 種 等
			株数	金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円			
WASTE CONNECTIONS INC	882	—	—	—		商業サービス・用品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	882 1	— —	— —	— <—>		
(イギリス)			千英ポンド				
GENUS PLC	1,171	—	—	—		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
HALMA PLC	2,139	—	—	—		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
NATIONAL GRID PLC	5,945	5,879	6,002	1,151,504		公益事業	
CERES POWER HOLDINGS PLC	4,062	—	—	—		資本財	
CRODA INTERNATIONAL PLC	822	970	4,629	888,081		素材	
SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC	409	399	3,870	742,387		資本財	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,551 6	7,249 3	14,502 —	2,781,973 <5.6%>		
(スイス)			千スイスフラン				
ABB LTD	1,600	—	—	—		資本財	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,600 1	— —	— —	— <—>		
(デンマーク)			千デンマーク クローネ				
VESTAS WIND SYSTEMS A/S	2,457	—	—	—		資本財	
ORSTED A/S	632	—	—	—		公益事業	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,090 2	— —	— —	— <—>		
(韓国)			千韓国ウォン				
SAMSUNG SDI CO LTD	117	—	—	—		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	117 1	— —	— —	— <—>		
(中国)			千オファリア人民元				
SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A	3,501	—	—	—		資本財	
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	11,047	—	—	—		半導体・半導体製造装置	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,548 2	— —	— —	— <—>		
(アイルランド)			千ユーロ				
KERRY GROUP PLC-A	710	—	—	—		食品・飲料・タバコ	
SMURFIT KAPPA GROUP PLC	1,560	—	—	—		素材	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,270 2	— —	— —	— <—>		
(オランダ)			千ユーロ				
ARCADIS NV	1,432	1,287	7,650	1,257,347		商業サービス・用品	
KONINKLIJKE DSM NV	669	—	—	—		素材	
ASML HOLDING NV	—	131	12,040	1,978,779		半導体・半導体製造装置	
CORBION NV	1,317	—	—	—		素材	
ALFEN NV	674	—	—	—		資本財	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,094 4	1,419 2	19,690 —	3,236,126 <6.5%>		

アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	前期末 株数	当 期 末 株数	評 価 額		業 種 等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ルクセンブルグ) BEFESA SA	百株 1,512	百株 —	千ユーロ —	千円 —	商業サービス・用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1	—	—	<—>
(フランス) CAPGEMINI SCHNEIDER ELECTRIC SE	— 860	276 455	千ユーロ 5,707 9,514	千円 938,053 1,563,652	ソフトウェア・サービス 資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	860 1	731 2	15,221 —	2,501,706 <5.0%>
(ドイツ) SAP SE AIXTRON SE SIEMENS AG INFINEON TECHNOLOGIES AG SYMRISE AG SMA SOLAR TECHNOLOGY AG	— — 742 2,993 — 761	378 1,063 422 2,376 637 —	千ユーロ 6,483 2,331 7,371 7,981 6,863 —	千円 1,065,512 383,104 1,211,545 1,311,807 1,127,942 —	ソフトウェア・サービス 半導体・半導体製造装置 資本財 半導体・半導体製造装置 素材 半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,497 3	4,879 5	31,030 —	5,099,911 <10.3%>
(ポルトガル) EDP-ENERGIAS DE PORTUGAL SA	10,532	—	千ユーロ —	—	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,532 1	—	—	<—>
(スペイン) IBERDROLA SA EDP RENOVAVEIS SA CORP ACCIONA ENERGIAS RENOVA	7,736 — 1,690	— 4,286 —	千ユーロ — 5,328 —	千円 — 875,692 —	公益事業 公益事業 公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,426 2	4,286 1	5,328 —	875,692 <1.8%>
(その他) VULCAN ENERGY RESOURCES LTD	7,934	—	千ユーロ —	—	素材
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,934 1	—	—	<—>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	41,129 15	11,317 10	71,271 —	11,713,437 <23.6%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	103,156 53	32,837 38	—	45,347,307 <91.5%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2024年4月11日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	48,340,358	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,393,250	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	49,733,608	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）期末における外貨建て資産（46,626,038千円）の投資信託財産総額（49,733,608千円）に対する比率は、93.8%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=153.01円、1英ポンド=191.83円、1ユーロ=164.35円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2024年4月11日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	50,264,634,727円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	666,871,832
株 式(評価額)	48,340,358,587
未 収 入 金	1,213,631,647
未 収 配 当 金	43,772,661
(B) 負 債	682,568,721
未 払 金	532,568,721
未 払 解 約 金	150,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	49,582,066,006
元 本	28,326,703,985
次 期 繰 越 損 益 金	21,255,362,021
(D) 受 益 権 総 口 数	28,326,703,985口
1万口当り基準価額(C/D)	17,504円

- 期首元本額 36,420,014,827円
期中追加設定元本額 -円
期中一部解約元本額 8,093,310,842円
- 1口当たりの純資産額 1,7504円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額 28,326,703,985円
アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
期末元本合計 28,326,703,985円

■損益の状況

（2023年4月12日～2024年4月11日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	663,439,003円
受 取 配 当 金	603,658,188
受 取 利 息	59,822,819
支 払 利 息	△ 42,004
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	8,663,069,922
売 買 益	17,252,162,497
売 買 損	△ 8,589,092,575
(C) そ の 他 費 用	△ 12,507,637
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	9,314,001,288
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	16,968,049,891
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 5,026,689,158
(G) 計 (D+E+F)	21,255,362,021
次 期 繰 越 損 益 金(G)	21,255,362,021

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。